

# 子供の町 だより

創刊：昭和24年11月

発行：社会福祉法人 子供の町

児童養護施設 子供の町

児童養護施設 エンジェルホーム

地域小規模施設 菜の花

地域小規模施設 かえて

住所：埼玉県春日部市西金野井337番地

電話：048-746-0206

FAX：048-746-9215

HP：<http://kodomonomachi.jp/>



ご挨拶



「家庭的養護」

理事長 齊之平伸一

厚生労働省は、子どもの最善の利益を保障するため、児童養護施設の小規模化かつ地域分散化の推進を掲げておられます。しかし、いまだ子供の町では、子ども15名前後が定員の中舎制の施設があります。新年度に入り、家庭的な雰囲気の下、日常の関わりを大切にする、施設の小規模化を推進する所存でございます。

小規模化することで、一般家庭に近い生活体験を持ちやすくなり、子どもの生活に目が届き、個別の状況に合わせた対応をとることができます。また、生活の中で、子どもに家事や身の回りの暮らし方を教えやすなどのメリットがあります。

一人一人の個別の事情に合わせたケアができることは、家庭的な小規模施設の大きな利点です。

虐待などで入所が必要な子どもが増える中、現在1か所の小規模児童養護施設に加え、4月より春日部市内で地域小規模児童養護施設を新規開設することになりました。常時、職員が勤務します。また、緊急時には、本園などから、職員が駆けつける態勢を取ります。

近隣の皆様、関係する皆様には、新設の事情をご理解いただきたく宜しくお願い申し上げます。

「友よ」

社会福祉法人 子供の町

会長 田中文男

桜のはなが 咲くころに  
みんな集って 語ろうよ  
桜の花の 浴びながら  
子供の町の思い出を  
一緒に一緒に 語ろうよ

(令和5年度卒園生を祝う会)



「自分の力を信じて」

子供の町 施設長 坂本仁志

今年も桜の開花ニュースが聞こえてくる季節になりました。春は、別れと出会いの季節でもあり、今年も卒園生を祝う会が開催されました。子供の町から巣立っていく卒園生からは、感謝の言葉と卒園に当たっての決意の言葉があり、感慨深い思いました。

これまで、施設で生活することで守られていた部分と我慢しなければならない部分があったことと思います。以前の卒園生から、「学校で保護者欄がある書類を集める際は、後ろからの回収を待たずに、他の友人の目に触れないように自分でさっさと先生に提出してた。」とうかがったことがあります。施設に入所していると施設長が保護者となっているため、名字が違うことが友人に知られると色々と心配されたりするのが面倒だからとの思いからの行動だったとのことでした。私たちが気付けないようなところで、友人との関係にも気づかしていたことを知りました。

卒園生の皆さんには、これから社会の荒波の中で、さまざまな経験を積まれていくと思いますが、自分の力を信じて歩いてほしいと思っています。

「新年度をむかえ、地域へ」

エンジェルホーム 施設長 西村洋平

昨年度は多くの方の支えにより、無事に一年を過ごすことが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。令和6年度を迎え、益々子どもたちの最善の利益のために施設運営を行っていききたいと思います。

さて、新年度を迎え、エンジェルホームでも地域小規模児童養護施設を一か所設置することが出来ました。仲介してくれた方や、建物のオーナーさんの協力を得て、物件を使わせていただけることとなり、地域の方々にも温かく迎え入れてもらえることが出来ました。

ホームの名前は「かえで」。過去にグループケアで使用した名前ですが、今回はその花言葉に注目し、引き継ぐことにしました。かえでの花言葉は「美しい変化」「大切な思い出」「調和」だそうです。

地域の中で近隣の方々と調和しながら家庭的な暮らしを積み重ねていく中で、そこで暮らす子どもたちの心身に美しい変化が現れ、そこでの暮らしが大切な思い出になるような養育が行われることを期待しています。

中舎制寮のみで運営してきたエンジェルホームですが、より家庭的な環境での養育の第一歩を踏み出すことができました。

今後も小規模化・地域分散化を含め、子どもたちにより良い養育環境を提供できるように努力を重ねていきたいと思っています。

「定年を迎えて」

給食室 主任 大井隆二

平成元年に子供の町に入職して早いもので35年の月日がたち、東京での調理師生活を含め46年の調理師生活を送る事ができました事を心から感謝申し上げます。

令和5年度をもって定年退職となりますが、4月から新たなかたちで調理の仕事継続させていただける事になりました。今以上に子どもたちに喜んでもらえるよう

な仕事を心掛けて参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

長きにわたり多くの方々にお世話になりこの場をかりて感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



## 巣立ち



卒園生を祝う会 幹事

今年も巣立ちの季節がやってきました。3月16日、卒園生を祝う会が行われました。今年度卒園する子ども達は6人。進路は、5名就職で1名進学となっています。今までたくさんの方々を支えていただいた感謝の気持ちを一人ひとり発表してもらいました。どの子もしっかりとした内容でした。この気持ちを大切に頑張ってもらいたいと思います。また、2年前に卒園して今年短大を卒業し、保育士として働く子もいます。自分の夢に向かって大きく羽ばたく彼らにエールを送りたいと思います。そして元気な顔を見せに来園してくれるのを楽しみにしています。



## 卒園生の言葉



あおば T.K. 飲食店

今、僕はアルバイトを頑張っています。以前勤めていたところは、続かなかったのですが、今のバイト先は頑張って続けています。そして、そこに就職することに決まりました。これからも頑張ります！

すみれ N.T. 小売業

私の子供の町での思い出は2つあります。

1つ目はダンスクラブです。夏祭りやハーモニー春日部などでみんなとダンスを踊って楽しかったです。

2つ目は「子供の町のみんな」です。私は、子供の町の皆と一緒に遊んだりしてとても嬉しかったです。時にけんかをしてたくさん怒られたことを今でも覚えています。卒園したら、会えなくなるのが少し悲しくなります。

これまで見守ってくれた職員の皆さん、ありがとうございました。

就職しても頑張ります。

菜の花 M.S. 食品工場

12年間お世話になりました。

これから一人暮らしで寂しくなりますが、私は、菜の花で鍛えられたので、これからも頑張れます。

私は、高校の担任の先生の推薦で就職先が決まりました。その会社には永久就職して工場長まで上りつめます。

今まで、ほんとうにお世話になりました。ありがとうございました。

わかば J.S. 建設業

16年間お世話になりました。

たくさんの方々に支えてもらってここまで大きくなりました。

無事、高校卒業もできました。就職も決まり、これからは社会人として頑張ります。

ゆり E.O. 介護職

高校を卒業し、4月から社会人となります。社会人として恥じぬように、これまで培った経験を活かし、ご利用者様の力になれるように精一杯頑張ります。

子供の町での生活は不満を先にかんじていましたが、今振り返ると、とてもかけがえのないものだったなあと感じています。

8年間ありがとうございました。

さくら O.E. 大学進学

私は、小学5年生のときに子供の町に入所しました。

最初は周りの環境やこの先のことに馴染めるか不安でしたが、みんな優しく思ったよりも早く溶け込め、不安は薄まりました。

今、私は進学が決まりました。進学先の環境に馴染めるのか、今とても不安です。ですが、これから新しいことに挑戦できることのワクワクさを感じています。自分の夢の一步として頑張ろうと思います。



祝 卒園

職員からはなむけのメッセージ



「卒園される皆様へ」

看護師 石川弥生

ご卒園おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

小さな頃からの夢を抱き、立派に自立される皆様の目の前には、希望に満ちた輝かし

い未来が広がっていることと思います。

これから歩みだす社会には、様々な考えを持った、様々な境遇の人がたくさんいます。有り余る情報に戸惑うこともあるでしょう。これから益々進化する「多様性」と呼ばれる時代だからこそ、人の言葉に耳を傾け、慧眼一けいがん（物事の本質を見極める力）の持ち主となってください。

なんでも挑戦してください。

毎日を楽しんでください。

自分を大切にしてください。

皆様の夢が叶うことを願っています。また笑顔でお会いできる日を楽しみにしています。

「門出 ✨」

家庭支援専門相談員 大塚美帆

この春、卒園する皆さん、卒園おめでとうございます。

就職した人は社会人1年目、進学した人は1年生として始動されますね。先輩方の話や姿を見て、社会に出ることを楽しみにする人もいれば、不安になる人もいます。誰もが初めは不安が付きものです。失敗すること、悩むことは必ずあります。その現実に目を背けることなく前を向いてほしいと思います。

でも、楽しいことも沢山あると思います。一人暮らしも、寂しいと思えば辛いけど、自由だと思えば、わくわくするものです。

考え方で乗り越えられることもあれば、挫折を感じてしまうこともあります。でも、乗り越えた先に幸せな未来が待っていますよ。





## 卒業文集

### 「最高の思い出」

小6 3寮 K.I.

「修学旅行」それは、僕の6年生の中で一番心に残っている思い出です。修学旅行から時間がたった今でも思い出すだけで楽しい気持ちになれます。

修学旅行は、鎌倉に行きました。鎌倉のどこに行くのかを、班で話し合っ決めてきました。行ってみたい場所をインターネットや本で調べたりして、最も良いコースを考えました。考えるときに大変だったのは、電車の時間を決めることでした。電車の時間に間に合うように何度も行く場所や時間を調整しました。しかし、いざ鎌倉を歩いてみると思っていた通りにはいきません。時間が足りなくなってしまう計画を立てた全てを回ることができませんでした。しかし、楽しく班行動ができ、いいお土産も買え、ゴールの鎌倉の大仏にも時間通りに着くことができました。

僕は、この経験を通して計画を立てることの大切さを学びました。今回は計画通りに行きませんでした。時間通りにゴールができたのは、行く前にしっかりと計画を立てたからだと思います。中学校に行っても、しっかりと計画を立てて行動していきたいです。

### 「わたしの夢」

小6 ゆり H.K.

小学校6年間でたくさんのことを学びました。その中で特に頑張ることができた教

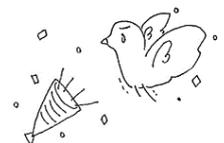
科は図工です。6年間で、たくさんの絵を描いたり工作をしたりしました。工作では物の作り方や道具の使い方を学びました。絵では、色使いや、人物のかき方を学びました。特に、絵をかくことは好きだったので一生けん命書きました。中でも、5、6年生でかいた野菜の絵は、一番心に残っています。自分でそだてた野菜と自分をかきました。トマトがとても上手にかけてうれしかったです。

絵をかくことが好きなので、将来はイラストレーターになりたいと思っています。

わたしは、イラストレーターになる夢をかなえるためにがんばっていることがあります。それは、アトリエに通い、たくさん絵をかいて勉強していることです。学校やアトリエで学んだことをいかして、私の絵にたくさんの人が興味をもってもらえようになりたいです。

### 「幼稚園の思い出」

幼稚園年長 ゆり S.H.





## 寮の紹介

### 【あやめ】

あやめ寮は、子供の町一時保護事業として2017年12月に開設された定員6名の女児寮です。

短い子では3日程度、長い子では半年以上で家庭引き取りや施設入所といった新たな生活の場へ退所していきます。

子どもたちの中には、決まったルールに不満をこぼす子、家に帰りたいと言い出す子がいますが、衣食住が揃っていて安心して眠れる場所がある。そんな当たり前の生活ができる、どんな境遇の子でも安全に暮らすことができるのが子供の町あやめ寮です。



## 自立支援

### 「給食パスポート」

子供の町では、卒園する子どもたちに、「給食パスポート」を渡します。

給食パスポートとは、「子供の町のごはんが食べられる」というチケットです。

この制度を始めてから1年になりますが、すでに、6～7人の子どもたちが利用しています。

子供の町の食事を懐かしんでくる子どももいれば、困りごとの相談だったり、一緒に生活していた子ども、職員に会いたくなったりと理由は様々。

食事しながらの話は、つい本音が出てしまいます。「がんばっている」と強がっていても、「子供の町がよかったな」と。

溜まっていた愚痴を吐き出し、お腹も満たされ、帰って行きます。

「給食パスポート」は「独りじゃないよ」「いつも応援しているよ」のメッセージカードです。



## 里親支援

### 「どんぐりサロン」

「どんぐりサロン」は、里親さんの交流、学習の場です。里親さん同士が悩みを話したり、先輩里親さんからアドバイスをもらったり…。

里親さんだけではなく、里子ちゃんたちの交流の場にもなっています。

サロンの時間、里子ちゃんたちは、別室で過ごします。家庭支援専門相談員、自立支援担当、心理担当の職員が対応しています。

回を重ねると、職員にも慣れ、里子ちゃん同士が仲良くなり、どんぐりサロンを楽しみにしてくれているようです。

どんぐりサロンが、里親子にとって居心地が良い空間となるよう、工夫しつついつまでも、続けていこうと思っています。

(どんぐりサロンは今年度5回開催しました)





## 給食室



♪3月27日♡今日の夕食♪  
タコライス・さつま芋バター焼き  
きのこスープ・ヤクルト



✂ 本日の献立はタコライスです。タコライスはメキシコ料理のタコスをもとにした沖縄発祥の料理です。一皿でごはん、肉、野菜がとれて栄養満点です。このように海外の食べ物や郷土的文化にふれ、食を通してこどもたちの経験を増やしていければと考えております。今回は、チリパウダーを使ってスパイシーに仕上げました。



## あれこれ



- ◆1月30日フードドライブ贈呈式>  
埼玉りそな銀行様3支店で実施したフードドライブの贈呈式が行われました。  
今回で3回目となる今事業は、春日部市との包括的連携協定に関して共催事業として実施されました。いただいた食品や日用品は、子どもたちのために使用させていただきました。ありがとうございました。
- ◆2月10日<春日部市役所新庁舎見学>  
12名の子どもたちと職員で令和6年1月4日から業務開始した新庁舎を見学してき

ました。当日は、お忙しい中、市長や市議会議長にも同席いただき庁舎内を案内していただきました。普段入ることのできない議事堂や市長室もご案内いただき、子どもたちも大喜びでした。

- ◆2月25日<子供の町お楽しみイベント>  
株式会社コマーム様、典雅着物学院新宿教室西川口校様のお楽しみ催しがありました。お茶会、昔遊び、18歳のお祝い（振袖着付け）など、子どもたちも大喜び。特に、18歳のお祝いは、慣れない振袖に緊張していたようですが、「きれい!」「かわいい!!」と声をかけられ笑顔で応えていました。
- ◆3月15日<越谷アルファーズ試合観戦>  
三菱UFJ銀行様を通じてご招待いただいたバスケットボール B2 越谷アルファーズの試合の観戦に行ってきました。間近で見るプロ選手の迫力あるプレーに見入ってしまう子どもたちと職員でした。

- ◆3月<それぞれの卒業式>  
15日に幼稚園の卒園式・中学校の卒業式、21日に小学校の卒業式がありました。幼稚園は3人、小学校は10人、中学校は7人が卒業しました。4月からは、ピカピカの1年生です。

- ◆3月16日<卒業を祝う会>  
高校・大学を卒業し、社会へ巣立つ子どもたちをお祝いしました。理事長、理事、子供の町後援会の方々、施設長、担当職員らとともに、子供の町の思い出、これからの生活への期待、不安といった話で盛り上がっていました。みんな堂々と謝辞を述べ、立派でした。生活が落ち着いたら、顔を見せに来てください。待っています。

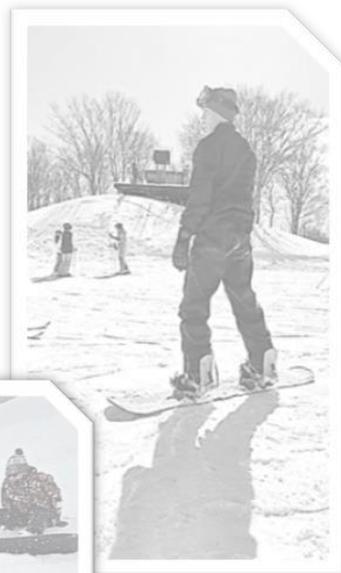


<カットイラスト すみれ 森島咲希>

## 【子供の町 写真館】



「お祝い」



「スノボ」



「祝・卒業」



「カラオケ」



「卒園生を祝う会」



### R6年1月～R6年3月に寄付金・寄付品を頂いた方々（順不同・敬称略）

荒木嗣則／石山拓美／和泉英仁／江内田和久／門司一徹／北田幸一／グランマ Chie／ケツカヒロユキ／児玉みね子／齊藤優子（Yokosuka 子ども食堂）／佐藤明宏／杉山喜光／鈴木美子／関根勇／田中文男／中条紀孝／中村美雪／中本なほ子／原和代／林恵子／松川美奈子／松本伸一郎／峯直之／JA 南彩／ほっこり虹の会／内牧夢らんど／平方夢らんど／かすかべ夢らんど／公益財団法人 那須記念財団／カーブス春日部ふじ通り／カーブス武里／コストコ新三郷倉庫店／アリックス(株)／FTL ジャパン(株)／三州製菓(株)／(有)東武管工設備／(有)本澤運送／フードバンク／フェリック(株)／ヤマザキビスケット(株)／(株)YTSUN／(株)イシモ建設／(株)埼玉りそな銀行／(株)クマヒラ・ホールディングス／(株)並木樹脂／(株)ブライトファーム大久保／(株)ブルック／他匿名の方々

(R6.1.16～3.31 までご寄付をいただいた方を記載しております)

